CONTENTS

はじめに …… 2

清水愼一教授が解説!
日本版DMOによる観光地域づくり …… 6

観光庁 原田参事官インタビュー
地方創生の柱「観光」に今、求められていること …… 18

柏木千春教授が教える!
DMOの基礎講座 …… 28

日本版DMOの概要 …… 32

先進的な取り組みを行う地域に注目!
5つの最新実例から学ぶ「日本版DMO」 …… 34

[対 談] 柏木千春（大正大学 客員教授）×井口智裕（雪国観光圏 代表理事）
「雪国」ブランドで地域おこしに挑む …… 36

[実例1] 八ヶ岳ツーリズムマネジメント
観光圏事業成功の鍵 求められる「リーダー像」 …… 48

[実例2] 阿智昼神観光局
日本一の星空を観光資源に新たな魅力を創出 …… 56

[実例3] 由布院観光総合事務所
年間400万人を呼び込む地域一丸のまちづくり …… 64

[実例4] 信州いいやま観光局
受け身から脱却、「攻めの組織」に変革 …… 72

さまざまなバックグラウンドを持ちながら
地域で活躍する人をピックアップ
キーマンに聞く！「観光地域づくりに大切なこと」 …… 80

● [にし阿波] 一般社団法人そらの郷 事務局次長 出尾宏二さん
「桃源郷・にし阿波の魅力づくりを演出」 …… 82

● [茅野] 茅野市 観光まちづくり推進室室長 高砂樹史さん
「観光地域ブランドを確立させて世界に向けて発信」 …… 88

● [阿蘇] 阿蘇市 経済部観光課 課長補佐 石松昭信さん
「地域の人々との対話を大切に課題を解決に導く」 …… 94

● [雪国観光圏] 一般社団法人雪国観光圏 ブランドマネージャー フジノケンさん
「雪国の価値を追求し、食で観光客を誘致」 …… 100

● <another story> [新潟] シンクボード（株）代表取締役　山倉あゆみさん
「農業と食を核に地域をネットワーク化」 …… 106

日本版DMO推進研究会の設立について …… 112

おわりに …… 114

大正大学 地域構想研究所
地域からニッポンを変える これが大正大学「地域構想研究所」のミッションです。 …… 116

日本版DMOによる観光地域づくり

～観光による豊かな地域づくりを～

地方創生の政策が進められる中で、日本版DMOという言葉が盛んに語られるようになってきている。DMOとは欧米で誕生した概念であるが、日本でもこのような機能を持った観光地域づくり推進組織が必要であると考えられるようになった。そこで、「観光地域づくり」のかじ取り役である「日本版DMO」の概念について、早くからその重要性を説いてきた大正大学地域構想研究所清水慎一教授が解説する。

聞き手
柏木千春
流通科学大学 教授
大正大学 客員教授

撮影：河野利彦、西邑泰和、金井塚太郎
写真提供：由布市まちづくり観光局、おぢかアイランドツーリズム、（一社）そらの郷、PIXTA

地域の自然、文化、歴史産業などをベースに、地域の活力をもたらすことが「観光」に期待されている

清水慎一

Shinichi Shimizu

大正大学地域構想研究所教授
日本版DMO（観光地域づくりプラットフォーム）推進研究会顧問
観光地域づくりマネージャーを育成する「清水塾」塾長

Profile

長野県小諸市出身。1948年12月1日生まれの団塊の世代。1972年東京大学法学部卒業後、日本国有鉄道に入社、1987年東日本旅客鉄道（JR東日本）に移行し、2000年本社取締役営業部長、2002年取締役仙台支社長。2004年6月にジェイティービー常務取締役。訪日ツーリズム推進や事業創造本部長などを担当。ロングステイプランなど着地型観光をベースにした地域交流ビジネスを打ち出す。2011年退任。現在　大正大学地域構想研究所教授。日本版DMO（観光地域づくりプラットフォーム）推進研究会顧問。長野県、福島県会津振興センター、佐渡・ニセコ・佐世保・別府・香川県などが加盟する全国13観光圏協議会、世田谷まちなか観光協議会など各地域のアドバイザーを務めるとともに、観光づくりマネージャーを育成する清水塾塾長や各地のシンポジウムやDMO勉強会、インバウンド研究会の講師なども務めている。

欧米による「DMO」と「日本版DMO」との違い

柏木　DMOや、日本版DMOという言葉を、最近よく目にすることが多くなりました。DMOは欧米で誕生した組織ですが、いったいどのようなもので、日本でも必要であると考えられるようになった背景をお話しいただけますでしょうか。

清水　これから人口減少がますます進む中で、地方創生が声高に謳われています。地方創生のメインに据えられている観光で、いま一番の話題は「日本版DMO」です。DMOとは、デスティネーション・マネジメント・アンド・マーケティング・オーガニゼーション(Destination Management/Marketing Organization)という言葉の略です。欧米で確立された概念ですが、実は日本でも早くからこれらの機能を取り入れた地域があります。

例えば、大分県の由布院などの地域では、早くから観光によって豊かな地域づくり（観光地域づくり）を実現しようと取り組みを行っています。そのために、来訪者のニーズ・動向などを把握・分析して、多様な地域資源からそれらに見合う魅力あるものを提供するというマーケティング機能と、地域

観光庁　原田参事官インタビュー Interview

地方創生の柱「観光」に今、求められていること

地域全体で観光の力を発揮してほしい。他省庁とも連携して支援します

原田修吾
国土交通省観光庁 参事官
（外客受入担当）

PROFILE
1994年運輸省入省。自動車、航空、鉄道、環境などを担当し、2004年に近畿運輸局にて関西全体の観光行政を現場の自治体とともに推進。その後、都市計画などの都市政策や地方交通政策の担当を経て、会計課で省全体の予算を担当。2016年4月より現職で、観光DMO、インバウンドの受入環境整備に取り組んでいる。

地方創生の柱として、観光が大きな役割を果たすことが期待されている。
観光庁としてどのような取り組みをしているのか。
地方創生交付金の観光部分も担当する観光庁の原田修吾参事官に聞いた。

撮影：松本幸子　写真提供：（一社）雪国観光圏、（一社）そらの郷　資料提供：観光庁

地方経済の底上げから国際関係の構築まで、幅広く期待される観光の力

訪日外国人が増えれば日本の風景が変わる

東日本大震災が起きた2011年に一度は落ち込んだものの、訪日外国人数は右肩上がりで、2016年には2400万人を記録した（図1参照）。観光庁の原田参事官は「観光立国を目指そうという動きは2003年のビジット・ジャパン事業から始まりました」と話す。

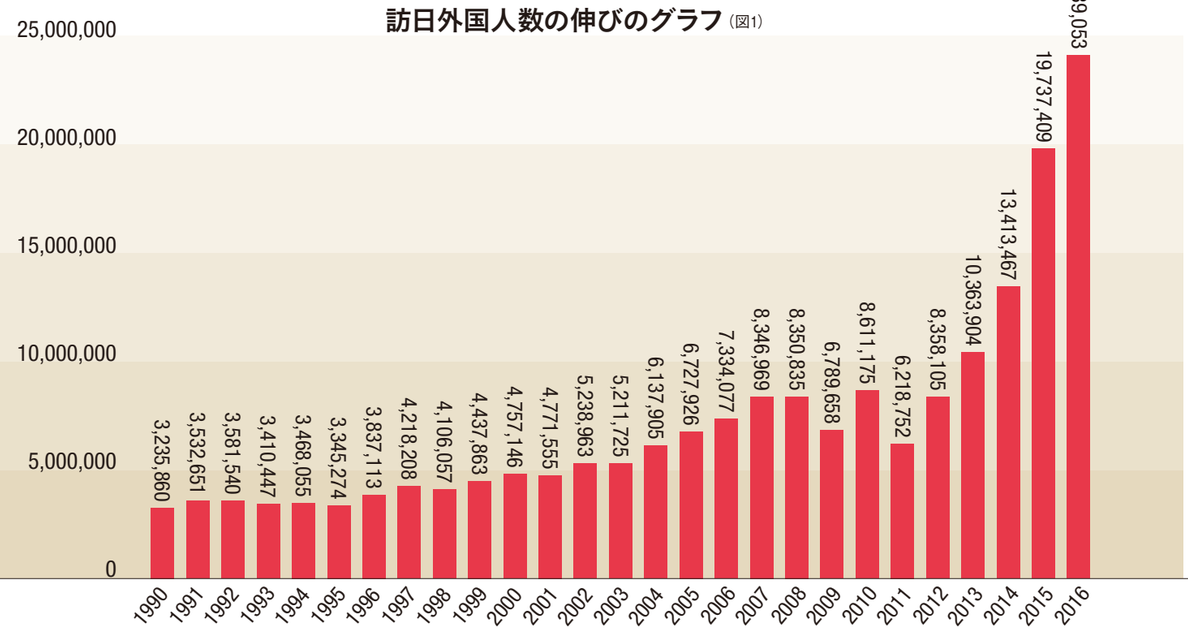
政府では、その後も多くの施策を打ち出し（図2表参照）、ここ数年の増加は、これらが花開いたともいえる。

「来てもらうだけではなく日本を楽しんで消費してもらう、日本経済を成長させていく重要な施策として観光が位置づけられています。そして外国人観光客の数が増えれば、様々な国の人が行き交い、日本の景色も変わってくるはずです。日本に来て、日本を好きになってもらうことは、国際関係にとっても非常に重要ですし、観光には様々な力があるのです」

観光立国の実現に向けた政府の取り組み（図2）

2003年	1月	小泉純一郎総理（当時）が「観光立国懇談会」を主宰
	4月	ビジット・ジャパン事業開始
2006年	12月	観光立国推進基本法が成立
2007年	6月	観光立国推進基本計画を閣議決定
2008年	10月	観光庁設置
2009年	7月	中国個人観光ビザ発給開始
2012年	3月	観光立国推進基本計画を閣議決定
2013年	1月	「日本再生に向けた緊急経済対策」を閣議決定 第1回国土交通省観光立国推進本部を開催
	3月	第1回観光立国推進閣僚会議を開催
	4月	第2回国土交通省観光立国推進本部を開催（「国土交通省観光立国推進本部とりまとめ」を公表）
	6月	第2回観光立国推進閣僚会議を開催（「観光立国実現に向けたアクション・プログラム」をとりまとめ） 「日本再興戦略-JAPAN is BACK-」を閣議決定
2014年	6月	「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014」決定（「2020年に向けて、訪日外国人旅行者数2000万人の高みを目指す」ことを明記）
	12月	訪日外国人旅行者1300万人達成
2015年	6月	「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2015」決定（「2000万人時代を万全の備えで迎え、2000万人時代を早期実現する」ことを明記） 「日本再興戦略」改定2015　閣議決定
	11月	安倍総理が第1回「明日の日本を支える観光ビジョン構想会議」を開催
	12月	訪日外国人旅行者1900万人達成
2016年	3月	「明日の日本を支える観光ビジョン」策定

訪日外国人数の伸びのグラフ（図1）



先進的な取り組みを行う地域に注目！

5つの最新事例から学ぶ「日本版DMO」

ここでは他に先駆けDMOを推進する
5つの地域の事例を紹介する。
それぞれの取り組みの戦略や組織の在り方、
リーダー論などから、
観光地域づくりを進めるにあたってのヒントが
数多く見えてくるはずだ。
各記事の最後には、清水愼一教授による
総論も掲載している。
本文と合わせて読むことで、
より理解が深まるだろう。

対談

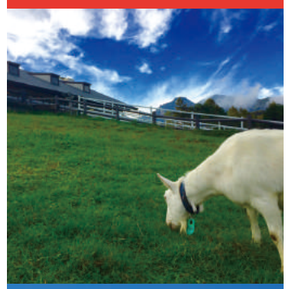
井口智裕
雪国観光圏 代表理事
×
柏木千春
大正大学 客員教授

「雪国」ブランドで地域おこしに挑む

観光圏事業成功の鍵
求められるリーダー像

実例 1

八ヶ岳ツーリズムマネジメント



実例 2

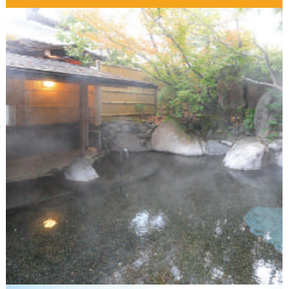
阿智昼神観光局

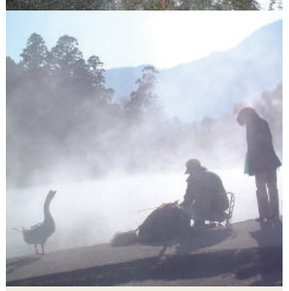
日本一の星空を観光資源に新たな魅力を創出

年間400万人を
呼び込む
地域一丸のまちづくり

実例 3

由布院観光総合事務所





実例 4

信州いいやま観光局

受け身から脱却「攻めの組織」に変革